

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	教育支援センター(適応指導教室)運営事業	所管	教育委員会学校教育部 教育センター TEL 2923-2396
-----	----------------------	----	------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	不登校児童生徒の自立を支援し、学校復帰が図れるようにする。
------------------------	-------------------------------

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	不登校により長時間欠席が続いている市内在住の小中学生の中で入級が適切と思われる者。	対象とした数	19	人
		実際に 利用した数	19	人

活動の内容	(何を したか)	1 栽培、調理実習、キャンプ、スポーツ等の体験活動 2 学習の支援 3 情緒の安定を図り、社会的スキルを身に付ける								
		活動実績	項目名	延べ通級回数	870	項目名	実施日数(集団活動)	107	項目名	体験教室実施回数
				----- 単位 回			----- 単位 日			----- 単位 回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	229	107	9,219	27.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	不登校の状態が改善した率	状態が改善した児童生徒数/適応指導教室通級児童生徒数	90 ----- 単位 %	100 ----- 単位 %	111.1 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	130500	TEL	2923-2396
事業コード	130513	教育支援センター(適応指導教室)運営事業	教育委員会学校教育部 教育センター			
開始年度	平成 5 年度	→	終了年度	平成 年度		
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
分野別計画・指針						地方自治法
関連・類似事業						
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	3 相談活動の充実
					小柱	(1)教育相談の充実
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
事業開始の背景	いろいろな理由で学校に行きたくても行けない児童生徒が市内でも増加してきた。このような児童生徒に対して、様々な体験活動や心理的な支援を通して学校への適応を図るために開始した事業である。					

目的(何のために行うか、具体的に)	不登校児童生徒の自立を支援し、学校復帰が図れるようにする。					
対象(誰を、何を対象としているのか)	不登校により長時間欠席が続いている市内在住の小中学生の中で入級が適切と思われる者。		利用数の考え方 教育相談を継続する中で、入級が適切である(情緒不安定の・心理的要因が強い)と思われる児童生徒。			
対象数	単位	平成 18 年度	17	人	平成 19 年度	19
利用数	単位	平成 18 年度	17	人	平成 19 年度	19
事業の具体的な内容及び実施方法	1 栽培、調理実習、キャンプ、スポーツ等の体験活動 2 学習の支援 3 情緒の安定を図り、社会的スキルを身に付ける					

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
改善点	これまで取り組んできた個別の登校の促進だけでなく、同年代の生徒の小集団という特性を生かし、集団で対人コミュニケーションの練習を行ったり、集団学習を取り入れたりとすることで、学校復帰の際のハードルを下げる支援を行なった。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		239	229	148
	決算(見込み含む)		212	107	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費		0.97 人	8,924	0.97 人
	公債費				
	事業費合計		9,136	9,219	
	財源内訳		9,136	9,219	148
	一般財源				
	国・県支出金				
	受益者負担金				
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		27.0	27.2	
	利用数一単位あたり(単位:円)		537,411.8	485,220.0	

⑥指	項目名	延べ通級回数	児童生徒の延べ通級回数	単位	回	H 18	864	H 19	870	H20見込み	950	将来目標
標	活動実績	実施日数(集団活動)	適応指導教室(集団活動)を実施した日数	単位	日		137		107		111	
		体験教室実施回数	外部指導者を招聘して行った体験教室の実施回数	単位	回		9		5		4	
	成果分析	不登校の状態が改善した率	状態が改善した児童生徒数/適応指導教室通級児童生徒数	単位	%	目標値	100		90		90	
				単位	%	実績	100		100		100	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				単位	%	達成率	100.0		111.1			1

⑦一	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
次	評価	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
			他事業との整理・統合			<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係
次	評価	明らかとなった課題	通級している生徒の学校・担任との連携強化の必要性				
次	評価	今期目標項目(何を)	学校・担任と子どもの状況の情報交換をする	達成水準(どこまで)	月2回	時期(いつまで)	平成21年3月
次	評価	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
次	評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
次	評価	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
次	評価	評価理由	通級した生徒はすべて学校復帰への状態変化が見られた。また、卒業生は、卒業式には全員が出席できるなどの成果があり、今後も事業の継続が望まれる。				
次	評価	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	教育センター所長・永井博彦		

⑧二	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
次	評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
		評価理由							
		評価日							
次	評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
			見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
			評価理由						
			評価日						

⑨	個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
		◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1132
		基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
		主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成		
		施策の方向	3悩みや不安への専門的サポートの充実		